

酒蔵にオゾン?! 美味しい清酒の 生まれるところ

画文・大田垣 晴子

花火が有名な大曲にある
刈穂酒蔵を訪ねました

美しい!!
明治時代の蔵

蔵を案内してくださったのは
大杜氏の齋藤さん

軒先には
杉玉!!

さかばやし
酒林と
いいます

仕込み蔵は
事務所棟の奥です

どしりした入り口

海浜滄

「滄溟海(そうめいかい)」
火防せの意味を持つ
銘が飾ってある

蔵の棟札

そらじをした時に
みつけたもの

1850年

喜水三藏
房成四月吉祥止
横染
高橋与四郎

黒船来航
する
3年前!!

大正14年に
皇太子殿下が来蔵なされた

皇太子殿下御買上
刈穂酒蔵
蔵造元

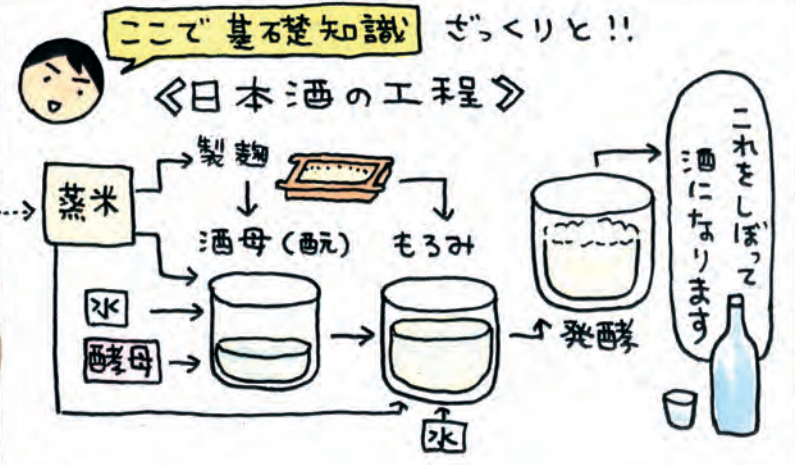
とこのことは後の
昭和天皇陛下!!

何気なく置かれているもの
見ても、歴史と伝統のある
蔵なんだなーとわかる。

では蔵の中へ

蔵内は
帽子に
白衣着用

おたご
しませ





麹室だけじゃなく、全ての部屋をオゾン処理しています

こんなにタンクの並ぶ広い場所も?! 目張りして処理する

すごいなオゾン!!

でも神様にもお願いしているんですね



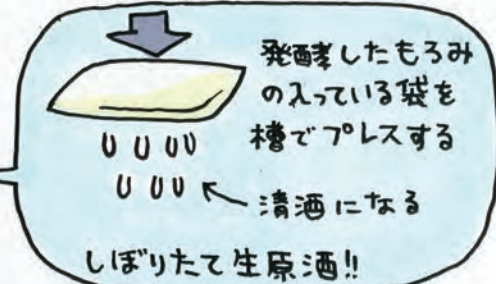
それくらい酒を菌から守りたいんです



刈穂酒造では酒をこすのに「樽(ふね)」を使います。



飾ってある書(樽は6機あるのです)



しぼりたて生原酒!! というイメージ。

酒袋を洗っている蔵人がいました。



女の人もいるんですね

わたしがここに来た当時(846年)は女人禁制でした

先々代社長が秋田では初めて女性を蔵に入れてよいようにした。

先見の明がある!



ちょっとかいでみますか?

品評会用の大吟醸

ここからでもいい香りがしまよ

ではここで!! 楽しい蔵見学終了。

ありがとうございました

事務所にいくと



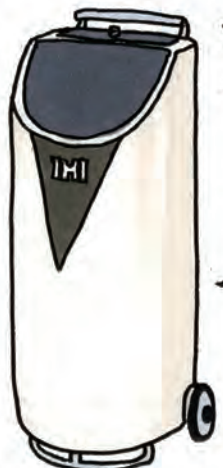
どうもこんにちは

きき酒はしましたか?

—がいらした。IHIのオゾン処理装置を清酒界で初めてつけたのが、ここ秋田清酒株式会社なのだそうです。(2003年)

お世話になってます!!

きっかけは有機JASの認定をうけようと思って ←ホルマリンを使用するのを止めることにした。



色々な製品を試してみた。そしてオゾン処理装置を知る。

タイマーでオートマチックにオゾンの発生から処理、オゾンの回収までしてくれる

←可動式なのもメリット。



オゾン処理装置は以前から医療用に活躍していた。

救急車にもついています

伝統と新しい技術がっつながって、良い酒が出来上がるのだなあ——と実感!!

いろいろ試飲させてもらいました

おいしい!!

刈穂の水は硬度が高めなんだそう

だから 辛口の酒がほんとにキリッと辛く仕上がっている

純米吟醸はフルーティ



STORY BY 大田垣晴子

1969年神奈川県横浜市生まれ。武蔵野美術大学卒業後、同大学ファッションデザイン研究室助手を経て、画家デビュー。著書に「40歳! 妊娠日記」「くうへの音」(以上文芸春秋)、「結婚ゴラウンド」(中央公論新社)、「うちの暮らし」(メディアファクトリー)、「日々は反省」(ポプラ社)、「焼酎くるくる」(ワニブックス)、「キリンビール大学 超人気講座ビールでいただきます!」(ソフトバンククリエイティブ) など。

オゾンエアクリア eZ-2000 とは

ホテルや福祉施設でのクリーンな環境雰囲気創出を目的として、株式会社IHIアグリテックがIHIと共同で開発。オゾンとHEPAフィルターの併用による高い除菌力と脱臭力が認められ、ホテル・福祉や食品・化学工場など幅広い分野で多数納入実績がある。酒蔵向けとしては2003年に秋田清酒向けに初採用されて以来、現在まで全国に77台が納入されている。



株式会社 IHI アグリテック
WEB <https://www.ihico.jp/iat/products/ozone/index.html>

CLIENT

秋田清酒株式会社 刈穂蔵

1913(大正2)年創業。酒米の栽培と造りに適した気候の仙北平野に位置し、奥羽山脈からの水脈が注ぐ雄物川のほとりにある。製造数量は2000石。特徴は蔵伝統の山廃仕込みで、現在は醸造される全ての酒が特定名称酒。

住所 〒019-1701 秋田県大仙市神宮寺字神宮寺 275
電話 0187-72-2311
WEB <https://www.igeta.jp/about-kariho/>

